



令和8年度 神奈川県職員 採用試験に向けた説明会 —福祉職（児童心理）—

神奈川県子ども自立生活支援センター
子ども第三課1階
神沢 美波

自己紹介

○大学、大学院で臨床心理学を専攻

○神奈川県中央児童相談所にて一時保護所心理司(1年間)

入庁

○神奈川県厚木児童相談所子ども相談課(4年間)

○神奈川県子ども自立生活支援センター子ども第三課

(8か月 → 産休育休2年間 → 復職、現在4か月目)

- 児童相談所の仕事に興味
- 非常勤として勤務し、児童心理司として働きたいと感じる

【メリットを感じた点】

- 職員が多く、層が厚い
- 異動があり、様々な職場を体験できる

【心理の仕事】

○子どもの見立て

心理面接、検査の実施



○子どもへのケア

心理面接、プレイセラピー、
プログラムの実施

○他機関との連携、 コンサルテーション

子どもの見立てや
関わり方などの共有



○療育手帳の判定

知能検査の実施



当時感じていたこと

【大変だったこと】

- たくさんケースを引き継がれ不安に
 - はじめての虐待通告の電話、緊張で手が震える
 - 上司や先輩の丁寧なサポート、同期の支え
 - 後半は担当するケース数が増えて忙しかった…
 - 業務量について上司に相談、調整してもらう
- 休みの調整はしやすい仕事！

【良かったこと】

- 一つとして同じケースはないため、日々勉強、日々成長
- 職場が和気あいあい
- 子どもたちをケアする仕事 やりがいを感じた

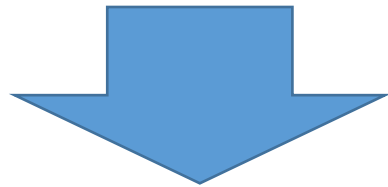
仕事をする中で・・・

児童養護施設で暮らす児童の支援

施設の職員さんから

どうしたらいいですか？

一緒に考えて策を練るもうまくいかず・・・



施設の支援について学びたい！



所属先② 子ども自立生活支援センター（きらり） 子ども三課（ぎんが）

きらり（平成29年開設）

子ども第一課 乳児院 みらい

0歳からおおむね2歳くらいの乳幼児が生活しています。

子ども第二課 福祉型障害児 入所施設 ひばり

幼児～高校生年齢の知的障害、知的障害を伴う発達障害のある子どもが、日常生活および自立に向けた支援を受けながら生活。

子ども第三課 児童心理 治療施設 ぎんが

主に小中学生で、環境上の理由により社会生活への適応が困難となった子どもが、心理的な治療のために短期間生活。



所属先② 子ども自立生活支援センター（きらり） 子ども三課（ぎんが）

1階 幼児・低学年男児ユニット

2階 男児ユニット

3階 女児ユニット

きらりの心理士

- ・自立支援課の心理士

- ・フロアの心理士



【フロア心理の仕事】

基本の動きはケアワーカーと一緒に！シフト勤務
食事、排せつ、入浴の介助、登園登校支援、
遊ぶ、散歩に行くetc…



子どもの生活支援に入りながら、

- 子どもの見立て、必要なケアを考える
- 心理面接

生活の中での支援、
環境調整がとても重要！

所属先② きらりのフロア心理業務

【幼児ユニット】

7:00~ 8:40	8:45~ 9:30	9:30~ 11:45	11:50~ 12:15	12:30~ 13:30	13:35~ 14:20	15:00~ 15:45
着替え 朝ごはん 幼稚園準備	幼稚園 送り	お散歩、 外遊び等	昼食	昼休み	幼稚園 迎え	記録

【低学年男児ユニット】

7:00~ 8:40	8:40	9:50~ 10:35	10:40~ 11:25	11:40~ 12:30	12:30~ 13:30	13:30~ 15:00	15:00~ 15:45
朝ごはん 登校準備	登校	心理 面接 (カンファ)	心理 面接	一度下校 昼食	昼休み	記録 下校 おやつ	記録

感じていること

【大変なこと】

- 一人職場に挑戦！これでいいのかな…？
→月1回の心理士の集まりに参加
- 子どもの生活支援に入るため、心理としての距離感に戸惑う

【良かったこと】

- 生活の中での支援について学べた
- 児相心理司の時とは違う視点を得られた
- 職場が和気あいあい

○妊娠中

→体調面を考慮してもらいつつ勤務

○産休・育休を取得

○子育て中のため、配慮を受けながら仕事

自分の生活も大切にしつつ、
バランスを取りながら勤務



ありがとうございました

みなさんと一緒に働けるのを
心より楽しみにしています！